



Q₀ 岡義博法律事務所報 第35号

高松市丸の内7番20号 丸の内ファイブビル5階
 TEL (087) 821 - 1300
 FAX (087) 821 - 1833
 MAIL oka-law@kln.ne.jp
 H P http://www.kln.ne.jp/oka-law/

同期

所長 弁護士 岡 義博

同期という言葉がある。軍隊などで同期の桜という言い方があるが、法曹（裁判官、検察官、弁護士）の世界でも同期という言葉が使われる。先日、私も修習36期25周年の会合に出席した。修習というのは、「司法修習」のことであり、36期というのは、昭和56年に司法試験に合格して、昭和57年から2年間、司法研修所で勉強した期のことである。つまり、司法研修所を卒業して25周年の記念の会合があったということである。卒業後の周年の会合としては10周年、20周年があり、5年ぶりであった。わずか5年ぶりではあるが、日本全国から集まってくる昔の仲間の顔はなつかしい。

法曹の同期というのは結束が強い。結束が強いのも理由がある。2年間の修習の最初4ヶ月と最後の4ヶ月は東京で全員の集合修習というのがあった。間の1年4ヶ月は全国各地にそれぞれ配属されて実務修習をするのである。この最初と最後の4ヶ月は、松戸にあった寮に住み、電車に乗って湯島にあった司法研修所に通っていた（もちろん、元から東京に居住している人は寮には入らないが）。寮で同じ釜の飯を食い、同じ風呂に入り、満員電車で揺られて通学するのであり、自然と一体感が生まれる。難しい宿題について寮で

議論をし酒を飲む。このように私生活でのつき合いがあり、それぞれの人となりを知ることができるので気心の知れた仲間となっていく。そこで、同期という強い結束が生まれる。そして、この同期に対する信頼は期を超えて法曹全体に対する相互信頼という所にまで広がっていたように思われる。

もちろん、同期の全員を知っているわけでもないし、他の期の人ほとんど知らない。それでも、同期というものを基盤に信頼を裏切らない集団として法曹の間には相互信頼があったと思われる。このような、法曹の間の結束はギルド社会であるとの批判もあるが、信頼に基づいて仕事を進めることができるということはプラス面が大きいことも事実である。

しかし、今日、同期間の信頼、法曹間の信頼という面が揺らいできているように思われる。新しい法曹養成制度（ロー・スクール）ができ、司法修習期間が1年に短縮され、前期修習はなくなり、後期修習は研修所の卒業試験（2回試験と称する）のため集まるというだけであり、修習生の間の深いつき合いはなくなりつつあるのではないか。これからは、卒業したロー・スクール同士での結束というふうに変わってゆくのであろうか。



法の女神・テミス

この像は、ギリシャ神話の「法の女神」テミス（Themis ...ギリシャ語で、「掟」「習慣」「法」「正義」を意味します）を形どったものです。

右手に掲げるはかりは、公平を象徴するとともに、悪の重さをはかり、剣は力による貫徹を象徴し、目隠しは無私をあらわすものといわれています。

DV防止法（配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律）は、言うまでもなく、配偶者の暴力から被害者を守る法律であるが、平成13年に成立し、施行され、その後2度の改正を経て、被害者の保護の範囲が拡大している。

まず、「配偶者からの暴力」とは、身体に対する暴力に限らず、これに準ずる心身に有害な影響を及ぼす言動を含む。即ち、言葉による暴力も含むのである。また「被害者」とは、配偶者からの暴力を受けた者をいうが、離婚をした後であっても、配偶者であった者から引き続き生命・身体に危害を受けるおそれがある者も含まれる。また、婚姻の届出はしていないが事実上婚姻関係と同様の事情にある者を含む。

法は、配偶者からの暴力を防止するとともに、被害者の自立支援を含めた保護を図ることを国や地方公共団体の責務であるとしている。そして、国がその基本方針を定めること、都道府県が基本方針に即して基本計画を定めること、市町村が基本方針に即し、都道府県の基本計画を勘案して基本計画を策定する努力義務を負うことを定めている。そして、都

道府県、市町村に配偶者暴力相談支援センターを設置することを義務づけている。配偶者暴力相談支援センターでは、相談に応じるほか、医学的・心理学的指導をしたり、被害者の緊急時における安全の確保や一時保護を行っている。また、自立促進のため、就業促進、住宅確保等の援助もしている。更に被害者を居住させ保護する施設の利用について援助もしている。

その他関係機関にも一定の責務を負わせている。警察官は配偶者からの暴力が行われていると認めるときは、暴力の制止、被害者の保護等の措置を講ずよう努めなければならない。警察本部長等は援助の申出があり、その申出が相当であると認めるときは、被害発生防止に必要な援助を行うものとされている。福祉事務所は被害者の自立支援のための必要な措置を講ずよう努めなければならない。そして、配偶者暴力相談支援センター、都道府県警察、福祉事務所、その他の関係機関は、相互に連携を図りながら協力するよう努めるものとされている。

保護命令については次号で。

Memories

事務局 T・A

現在、岡法律事務所でお働きしております。どうぞよろしくお願ひ致します。

私は今、通勤に電車を利用していますが、約10年前の高校時代も電車通学でした。

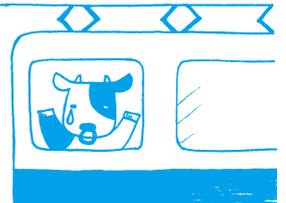
ある日の下校時、近所に住む同じ高校の友人と共に電車に乗っていました。話が盛り上がり、最寄り駅に着いたにも係わらず降りるのに少しもたついてしまいました。そして、私が先に降りた途端、背後でぷしゅ～と音が...振り返ってみると、一緒に降りるはずの友人を乗せたままドアは閉まり、電車が発車したのです。

その時、ドアのガラスに手をつき、呆然として運ばれていく友人の顔は一生忘れられないと思い

ます。ちなみに、私の頭の中のBGMは『ドナドナ』でした。

最寄り駅で1人大爆笑しながらも待っていると、友人は下りの電車で顔を真っ赤にして戻ってきました。降りそこなった車内でかなり恥ずかしい思いをしたそうです。

当時は笑い話で終わりましたが、ドアに挟まれたかもしれないと思うと少しゾッとします。皆さんも電車から降りる際は、なるべく素早く降りて下さいね。



長崎さるく

(長崎さるくより一部引用)

表題の「さるく」とは長崎弁で「うろうろ歩き廻る」という意味だが、まち歩き博覧会の後、「長崎さるく」と題して色々なイベントが実施されている。

郷里はどこ？と聞かれて「長崎」と私が答えると、ほとんどの人に「いいねー」とか「すてきね」とか言われる。何がいいの？

長崎には坂、墓、馬鹿が多いと言われている。そして、お人好しで話し好き。

以前帰省した際、タクシーに乗った。運転手さんが気さくに声を掛けてくる。

「お客さんどこから来なすったとですか？長崎はよか街でしょが」と言われた。私が、この町出身ですと言おうと思ったら、「もうどっか行かれたとですかー。グラバー邸がよかですよ」と言う。私が知ってるわと言葉を挟む暇なく「チャンボンがうまかですよ」私「・・・」。もうよか！

長崎出身のくせにネイティブな長崎弁が喋れないのがくやしいー。

私は昔々、長崎を出て、大阪へ行き、そして広島へ。関西弁、広島弁にあこがれるも、喋りこなせず東京へ。東京では標準語が使いこなせず高松へ。25年過ぎるもネイティブな讃岐弁が喋れず今日に至る。まるで私は「国籍を無くした難民だー」。

話を元に戻す。今回の帰省はタクシーを使うのをやめ、電車にした。これが便利。どこまでも100円。一日フリーで500円。

私がさるいた時、長崎は今日も雨だった。

雨の中、テミスの記事を書くという重大使命を課せられた私は、思案橋へ行った。夕暮れの雨の中、写真を撮った。使える写真はなかった。

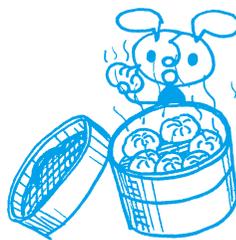
被写体が悪い。実は思案橋には何も無い。欄干があるだけ。昔、川が流れていて、花街時代に、遊郭へ行くか戻るか思案した橋らしい。

しかし、作詞家というのはすごい。どこからあの「思案橋ブルース」の歌詞が？

その欄干のちょっと離れたところで豚まんを売っていた。逆立ちしてもムードのある歌詞など湧いてこない。

その豚まんは丸い大きな蒸し器から湯気がでて、おいしそうー。間口一間ぐらいのところに豚まんだけ売っている店が何軒も。それが街の中心地、繁華街である。夏も売っているから感動だ。

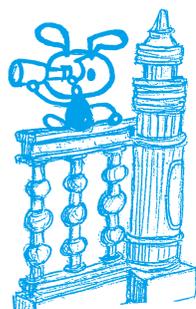
豚まんだけで生計が成り立っているということは長崎市民はよく豚まんを食べると言うことか。



きっと長崎市民は、豚まんはイメージに合わない、かっこ悪いから、豚まん発祥の地をひた隠しに隠しているのだー。

帰路、私はおみやげに蒸したての豚まんをつれて帰った。しかし、独特のにおい。トランクの服もなにもかも、「豚まん御一行様」になってしまった。

(E.O)



絵の上手なKさん作

エトセトラ

事務局 T・I

先日、日本漢字能力検定協会のホームページで、「変“漢”ミスコンテスト」というのを見つけました。メールや文章作成中にうっかり変換ミスをしてしまったものを集めてコンテストをしているのです。例えば、「500円で親使わないと(500円でおやつ買わないと)」、「遅れてすいません。怪盗アンデス(遅れてすいません。回答案です)」、

「リスとヒョウを送ります(リスト表を送ります)」などなど。ちょっと恥ずかしいけど、誰かに見て欲しい面白変換ミス。ホームページから誰でも気軽に参加できるようになっています。

日本漢字能力検定協会HP
<https://www.challenge-net.jp/>

外部の方からの投稿です



ちょっとひといき

もうすぐ17回目の結婚記念日。結婚当時を思い出す。色々あったけど、共に成長したなあ。17年間に、主人7kg、私8kgの成長（一目で分かる成長）。買ったままの「骨盤ネジ締めダイエット」の本。よしっ、やってみよう！付属のDVDを見ると、まずは、スポーツ店へ。わざとお腹丸出しタイプのウエアを購入。鏡の前に立つウエア姿の私を見た家族は、何が起こったのかと目を丸くし

事務局 K・K

た。今まで見ない、知らないように蓋をしてきた我が身を再確認。この衰えた筋肉を少しでも復活させたい。痩せると言うより筋肉を鍛えたい。今まで、自覚が足りなかったのだ。と言い聞かせ、頑張るしかない。何につけても、一番肝心なのは、持続力。休んでも、又、再出発でやってみよう。

